

いのちとくらしをまもる
防災減災令和4年8月
大雨関連令和5年1月31日
水管理・国土保全局 防災課福井県 くずりゅうがわ 九頭竜川水系 かひるがわ 鹿蒜川

全国で初めて「流域治水型災害復旧」を採択

～「流域治水」の考え方に基づいた制度の活用により、水害に強い地域づくりを推進～

令和4年8月の大雨により甚大な浸水被害が発生した九頭竜川水系鹿蒜川において、全国で初めて「流域治水型災害復旧」(令和4年度創設)を採択し、「流域治水」の考え方に基づいた制度の活用により、水害に強い地域づくりを推進します。

なお、福井県では、鹿蒜川流域において、この流域治水型災害復旧に加え、地域交通へ大きな影響を及ぼした道路や農地などの被災施設の復旧をはじめとしたハード対策、災害危険区域の指定による土地利用規制やタイムライン等の避難行動に資するソフト対策など、地域全体の防災力の向上に向けた一体的な取組を開始します。

○ 流域治水型災害復旧について

- ・ 災害復旧事業においても、流域治水の考え方に基づき、上流から下流、本川・支川の流域全体を俯瞰し、流域全体で水災害リスクを低減する対策を推進するため、令和4年度に創設した制度です（流域治水型災害復旧制度の詳細は別紙1を参照）。
- ・ 堤防の決壊や越水が発生した場合、災害復旧事業により、輪中堤や遊水地、排水施設等を整備し、遊水機能を確保しつつ家屋浸水を防御することで、下流における改修を待つことなく、被災箇所への再度災害防止を実現するものです（九頭竜川水系鹿蒜川における流域治水型災害復旧の詳細は別紙2を参照）。

○ 福井県による地域全体の防災力向上に向けた取組について

詳細は、別添「参考資料」及び福井県 HP をご覧ください。

- ・ 「鹿蒜川流域 防災・減災プロジェクト」(福井県)

https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/sabo/230126kahiru_bousaigensai_p.html

【問い合わせ先】国土交通省 水管理・国土保全局 防災課

企画専門官 細川 晋 (内線: 35-725)

改良計画係長 鶴巻 武人 (内線: 35-776)

改良技術係長 清水 健 (内線: 35-775)

代表 03-5253-8111、直通 03-5253-8458

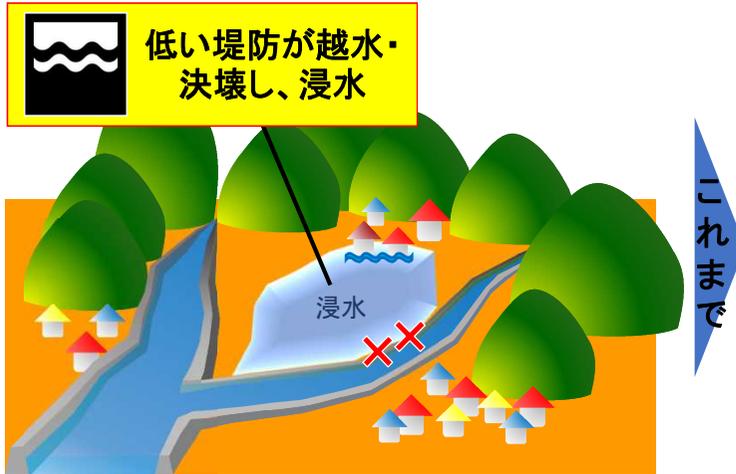
流域治水型災害復旧制度の創設

【出典】

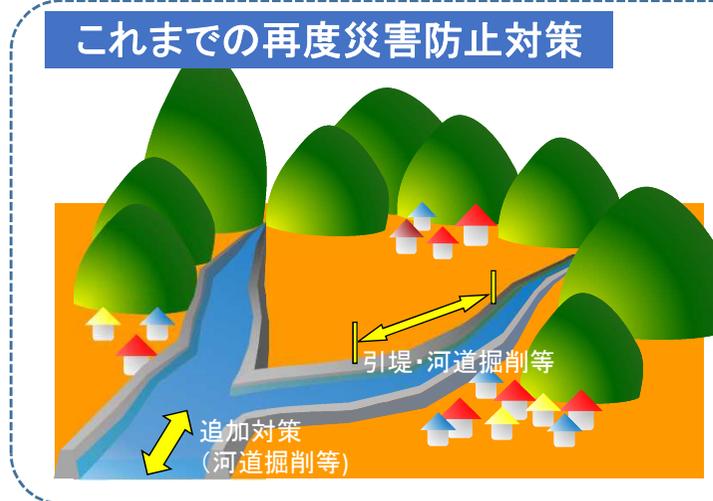
令和4年度 水管理・国土保全局関係 予算概要(令和4年1月)

別紙1

- 災害復旧事業においても、流域治水の考え方にに基づき、上流から下流、本川・支川の流域全体を俯瞰し、流域全体で水災害リスクを低減する対策を推進。
- 本川上流や支川において堤防の決壊や越水が発生した場合、遊水機能を確保しつつ、早期に浸水被害の軽減が可能な輪中堤や遊水地の整備を災害復旧事業として実施できる「流域治水型災害復旧制度」を創設。



新たな選択肢
を追加



被災水位に対応して
堤防の嵩上げ、引堤、河道掘削
により背後地全体の浸水を防ぐ
(災害復旧事業又は改良復旧事業で実施)



下流への負荷を考慮した追加対策
を実施 (追加の河川事業で実施)

拡充の内容

- 河川整備計画に対策が記載されていることや浸水を許容する区域を浸水被害防止区域等に指定すること等を条件に、災害復旧事業により、下流における追加の改修を必要としない対策(輪中堤、遊水地の整備)を実施可能にする。
- また、災害復旧事業査定設計委託費補助の補助対象に、輪中堤、遊水地の整備を追加する。

査定設計委託費補助：査定設計書を作成するための調査、測量、設計等に要する経費を補助【補助率：1/2】

新たな再度災害防止対策 (流域治水型災害復旧制度)



輪中堤又は遊水地の整備により、
遊水機能を確保しつつ家屋浸水を
防御

下流における改修を待つことなく、
速やかに被災箇所再度災害防止
を実現

○ 令和4年8月の大雨により甚大な浸水被害が発生した九頭竜川水系鹿蒜川において、**全国で初めて「流域治水型災害復旧」(令和4年度創設)を採択**(輪中堤整備など)し、「流域治水」の考え方に基づく水害に強い地域づくりを進めます。

位置図

福井県南条郡
南越前町
南今庄～新道



【事業内容】

- 事業主体：福井県
- 河川名：一級河川 九頭竜川水系 鹿蒜川
- 事業箇所：南条郡南越前町南今庄～新道
- 事業延長：3,140 m
- 事業期間：令和4年度～令和6年度(予定)
- 事業概要：輪中堤、護岸工 等

平面図



【浸水被害の状況】

- 面積：55ha
- 家屋：全壊5戸、半壊39戸、床上浸水62戸、床下浸水33戸
- その他：県道、JR北陸本線など



①家屋浸水



②堤防の決壊

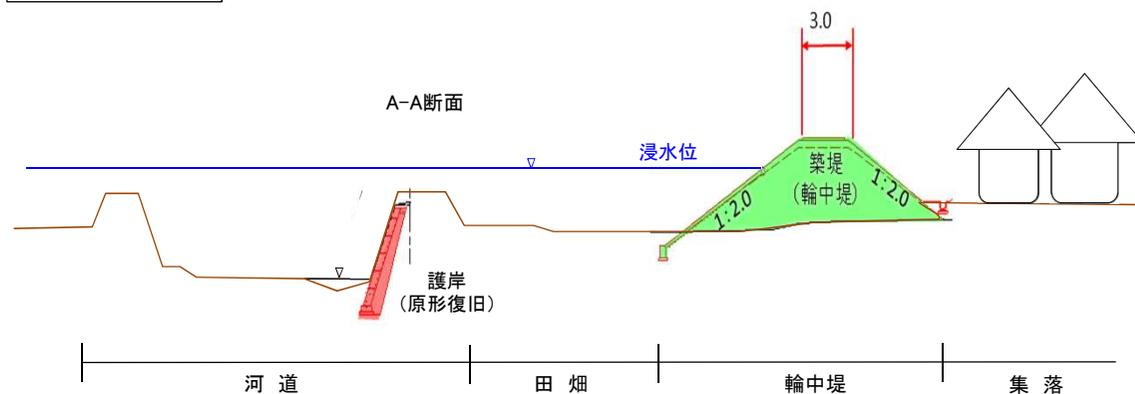


③護岸損壊



④護岸損壊

事業イメージ



鹿蒜川流域 防災・減災プロジェクト

参考資料

○福井豪雨に次ぐ災害となった令和4年8月大雨において、被害が集中した鹿蒜川流域の復旧・復興を迅速かつ確実に進めるため、被災施設の復旧に加え、早期に効果が発揮される輪中堤などの新たなハード整備および迅速な避難行動につながるソフト対策を一体的に進めます。

○県と南越前町が連携しながら、流域全体の被害軽減を目指して実施する対策を「鹿蒜川流域 防災・減災プロジェクト」として、進捗状況を情報発信。流域全体の再度災害防止、防災力向上につなげます。



区分	対策内容	実施主体	工程			
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度~
氾濫をできるだけ防ぐ・減らす [防災機能の強化]	輪中堤整備 (一級河川 鹿蒜川)	県	用地取得	整備		
	河道拡幅 (一級河川 鹿蒜川)		用地取得・整備			
	砂防設備整備 (鹿蒜川、鹿蒜川支川)		用地取得	整備		
	治山ダム整備		整備			
氾濫をできるだけ防ぐ・減らす [被害を受けた施設の早期復旧]	河川・道路・農地・農林施設・水道等の復旧	県、町	復旧			
被害対象を減少させる	災害危険区域の指定による土地利用規制	町	指定		土地利用規制	
被害の軽減、早期復旧・復興	浸水害・土砂災害対応タイムラインの作成・運用 ※的確な避難情報発令の判断に活用 (水位計・カメラも参照)	県、町	水位計・カメラ設置	タイムライン作成	運用改善	
	WE BやSNS等を活用し、住民に避難情報を確実に伝達する体制・手段の改善		検討・整備	運用		
	自主防災組織未結集落への組織設置に関する説明会実施 既自主防災組織の活動 (備品購入・避難訓練等) 支援	町	説明会等 随時開催			